



2013年1月22日

各 位

会 社 名 横 河 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 海 堀 周 造
コ ー ド 番 号 6841 東 証 第 一 部
問 い 合 せ 先 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 室 長 川 中 定
Tel 0422-52-5530

(続報) 国内制御事業における販売・サービス体制の再編に関する
会社分割（簡易吸収分割）のお知らせ

横河電機株式会社（本社：東京都武蔵野市 代表取締役社長：海堀 周造 以下 当社）は、2012年7月24日に公表した「国内制御事業における販売・サービス体制の再編について（吸収分割・吸収合併による簡易組織再編）」に関して、2013年1月22日開催の取締役会において、当社のソリューションサービス営業統括本部が行う事業を、当社の100%子会社である横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社に承継することを決議し、本日付で同社と吸収分割契約を締結しましたのでお知らせいたします。また、これに伴い、未定であった項目につきましても併せてお知らせいたします。

本組織再編は、YOKOGAWAグループの保守サービス・電気計装工事部門を担当する、当社の100%子会社である横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社を吸収分割承継会社とし、同社が当社のソリューションサービス営業統括本部を吸収分割し、さらに、同社に情報エンジニアリング部門を担当する、当社の100%子会社である横河ソリューションズ株式会社を消滅会社として吸収合併するものであり、また、本再編に合わせ、新会社は社名を「横河ソリューションサービス株式会社」に変更します。

なお、本件は、100%連結子会社と共同で行う簡易組織再編であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

1. 再編の目的

当社の中核事業である制御事業では、主たる市場は資源国、新興国、発展途上国等海外に移ってきており、その規模は連結売上高の60%以上となっています。一方、国内市場はYOKOGAWAグループにとってひとつの国として最大の市場ではあるものの、今後プラントの新規建設は減少するものとみられ、国内における制御事業の需要は既存設備の更新や高効率化、延命などに移っていくものと予想しています。

こうした状況で、国内に多数の納入実績を持つYOKOGAWAグループには、プラントの運転効率向上やライフサイクルの全期間にわたる設備資産活用の最適化など、単なる製品提供にとどまらない、より付加価値の高い総合的なソリューション提案が求められています。そこで、国内制御事業の販売、エンジニアリング、サービスの各部門を統合し、お客様にとって最適なソリューションサービスを一括して提供できる体制を整え、“ソリューションサービスカンパニー”への変革を遂げることを目指します。

また、これらの各部門を統合することにより、重複する業務を無くして最適なコスト構造を実現するとともに、経営スピードの向上を図ります。

YOKOGAWAグループは国内に強固な代理店体制を築いており、これら代理店と協力して、従来にも増してお客様に密着した販売・サービス体制としていきます。

2. 再編の概要

(1) 吸収分割・吸収合併の日程

吸収分割・吸収合併方針決議取締役会	2012年7月24日
吸収分割・吸収合併決議取締役会	2013年1月22日
吸収分割・吸収合併契約書の締結	2013年1月22日
吸収分割・吸収合併の実施、新会社発足（効力発生日）	2013年4月1日（予定）

なお、本吸収分割は、会社法第784条第3項の要件を充たす為、同項に基づき簡易分割により当社の株主総会による承認を得ずに行います。

(2) 再編の方式

- ・横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社を吸収分割承継会社とし、当社を吸収分割会社とする吸収分割を行います。
- ・横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社を存続会社とし、横河ソリューションズ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行います。
- ・再編統合の実施に合わせ、横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社は、「横河ソリューションサービス株式会社」に社名を変更します。

(3) 再編に係る割当ての内容

本吸収分割承継会社は、本吸収分割に関して、普通株式983,050株を発行し、その全てを当社に割当交付いたします。

(4) 当該組織再編に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社及び本吸収分割承継会社は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 分割により増減する資本金の額

本吸収分割に伴う当社の資本金の額に変更はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

本吸収分割承継会社は、当社から、効力発生日において、承継する事業に属する契約及び一切の権利義務を原則として承継いたします。ただし、吸収分割契約に別段の定めがあるものを除きます。

(7) 分割後の債務履行の見込み

当社及び本吸収分割承継会社において、負担すべき債務については、履行の確実性に問題はないものと判断しております。

3. 再編対象各社の概要

(2012年3月31日現在)

	分割会社	承継会社・存続会社 (注1)	消滅会社
商号	横河電機株式会社	横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社	横河ソリューションズ株式会社
事業内容	制御・計測・航空・船用関連機器等の製造、販売、エンジニアリング及び保守サービス等	計測・制御ならびに情報処理機器、半導体製造装置に関する保守サービス及び電気計装に関する工事	情報と制御に関するトータルソリューション展開及びエンジニアリング事業
設立年月日	1920年12月1日	1999年12月24日	2003年4月1日
本店所在地	東京都武蔵野市中町	東京都武蔵野市中町	東京都武蔵野市中町
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 海堀 周造	代表取締役社長 新井 洋司	代表取締役社長 木畑 仁
資本金	434億105万円	3億円	1億円
発行済株式数	268,624,510株	2,003,000株	13,950株
純資産	149,574百万円	2,430百万円	2,589百万円
決算期	3月31日	3月31日	3月31日
主要株主及び持ち株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 8.2% 第一生命保険株式会社5.8% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 5.5%	横河電機株式会社 100%	横河電機株式会社 100%

(注1) 2013年4月1日付で「横河ソリューションサービス株式会社」へ商号変更を予定しています。

4. 当社から分割する部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

制御・計測機器等の国内顧客向け販売、エンジニアリング及び保守サービス等

(2) 分割する部門の経営成績

平成24年3月期の売上高：859億円

(3) 分割する資産、負債の金額 (2013年4月1日見込み)

資産合計 8,255百万円

負債合計 5,655百万円

(注) 上記資産及び負債の額は2012年3月31日現在の貸借対照表を基準に算出したものであり、実際の額とは異なる可能性があります。

5. 新会社の概要

商号	横河ソリューションサービス株式会社
本店所在地	東京都武蔵野市中町2-9-32
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 奈良 寿
資本金	30億円
純資産の額	73億33百万円（見込み）
総資産の額	175億48百万円（見込み）
事業の内容	制御・計測機器等の販売、保守サービス、電気計装工事、トータルソリューション展開及びエンジニアリング事業

（注）上記純資産及び総資産の額は2012年3月31日現在の貸借対照表を基準に算出したものであり、実際の額とは異なる可能性があります。

6. 再編による当社への影響

再編による当社グループの連結業績への影響は軽微です。

以 上